

記入例

別表

熱損失防止改修工事証明書

証明申請者	住所	大東市谷川1丁目1番1号	
	氏名	大東 太郎	
家屋番号及び所在地		家屋番号 1番1、所在地 大東市谷川1丁目1番地1	
工事の種別及び内容	必須となる改修工事	窓の断熱性を高める改修工事	
	上記と併せて行った改修工事	① 天井等の断熱性を高める改修工事 ② 壁の断熱性を高める改修工事 ③ 床等の断熱性を高める改修工事	
	工事の内容	
熱損失防止改修工事を含む工事の費用の額（全体工事費）			700,000円
上記のうち熱損失防止改修工事の費用の額			500,000円

上記の工事が地方税法附則第15条の9第9項に規定する熱損失防止改修工事に該当することを証明します。

平成20年5月15日

証明を行った建築士、指定確認検査機関又は登録住宅性能評価機関	氏名又は名称	大阪 一郎		(印) 大阪
	住所	大阪府中央区〇〇〇		
	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	二級建築士	登録番号	第×××××号
	登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）	大阪府		
指定確認検査機関又は登録住宅性能評価機関の場合	指定・登録年月日及び指定・登録番号			
	指定・登録をした者			
建築士が証明を行った場合の当該建築士の属する建築士事務所	名称	大阪一郎二級建築士事務所		
	所在地	大阪府中央区〇〇〇		
	一級建築士事務所、二級建築士事務所又は木造建築士事務所の別	二級建築士事務所		
登録年月日及び登録番号	H19.4.1 知事(い)第×××号			
指定確認検査機関が証明を行った場合の調査を行った建築士又は建築基準適合判定資格者	氏名			
	住所			
	建築士の場合	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	登録番号	登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）
	建築基準適合判定資格者の場合	登録番号		登録を受けた地方整備局等名
登録住宅性能評価機関が証明を行った場合の調査を行った建築士又は建築基準適合判定資格者検定合格者	氏名			
	住所			
	建築士の場合	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	登録番号	登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）
	建築基準適合判定資格者検定合格者の場合	合格通知日付又は合格証書日付		合格通知番号又は合格証書番号

(用紙 日本工業規格 A4)